

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 26日

事業所名:あんじゅとよさと

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		静かに過ごす部屋と、活発に活動できる部屋を区別して使用している。	クールダウンするような個室が確保できない。パーテーション等で簡易的に作成できるようにしたい。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			今後利用者様の更なる増加によるスタッフの確保が必要。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		扉を始め、段差が出ないようにマットを使用している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		利用者の来所前、帰宅後は必ずミーティングを行っている。	スタッフが全員揃う機会をもっと増やして効率よく行いたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者向けの評価表を活用し色々な意見を聞いていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今後は、事業所より発信出来るようにしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後検討していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		ミーティング時に研修も兼ねている。	もっと行うべきという意見が出ています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		ご家族様や支援相談員と連絡を早めにとるようにしている。	スタッフに内容が行き渡っていないことがあったので、会議の場などでみんなで考え、結果を報告するように始めました。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		発達検査、療育センターの受信結果の聞き取りが出来ていない場合が多い。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		立案は主に管理者、児発管で行っているが、ミーティングで必ず内容、意図を知らせている。	他のスタッフも立案に参加してもらえるようにしたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メンバーにより、変化をつけて行っている。	集団で行えるもの、個別で行うべきものをもっと明確に考える必要がある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		イベントなど、多くの時間が必要なものは長期休暇時に行っている。	時間配分や、予定表の作成など再考中です。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		年齢層に大きな差があるので、集団活動の内容には気を付けている。	個別プログラムが少ないので、長期休暇中は増やしたい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ミーティングは欠かさずことなく行い報告している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティングは欠かさずことなく行い報告している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			もっと簡潔に記録が出来ればと思っています。改善中。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じて行っていけるように、状況を把握し、体制を整えておく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		もっと熟知が必要。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 26日

事業所名:あんじゅとよさと

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		もっと多くの方が参加できるようになれば理想です。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	各ご家庭から予定表を早めに頂いて、学校の下校時刻などの情報は得られている。	学校との連絡かもっとできればよいと思います。定期的に報告する機会を設けていきたい	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現時点で該当がありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前後など、情報交換をする時期が偏っている。今後は機会を増やし、就学前の状況や、その後の状況を報告しあうことで、様々な事例検討が出来るようにしたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現時点で該当がありません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修には出来る限り参加し、助言を頂いている。	全てのスタッフが参加できているわけではないが、報告することで情報共有を行っている。参加する機会を設けたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		親御さんの中には希望されない方も居られる為、検討中
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に、その日の報告を始め、話すことにしている。	送迎時だけではなくすべて伝えられるわけではないので、親御さんと話す機会を必要に応じて増やしていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今後は、行っていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用日は、長期休暇希望が急増するので、追加利用のことは特に気を付けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		親御さんも忙しく、機会を設けられないので、送迎時に話をする時間を大切にしている。	相談員の方など、一堂に会する機会を設けるのにはどうしたらよいか?難しい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者参加のイベントを行いきっかけを作っている。	利用者数も増えてきたので今後は、保護者会も行いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		活動中の様子を映像に収めているので、状況報告が正しく行える環境にある。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報誌はないが、不定期ではあるものの、活動中の写真を渡したり、イベントの時は必ず通達している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		スタッフ一同徹底できている。(ミーティングでも度々話す)	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		「言葉の伝わり方・伝え方」の研修を行った。	今後の利用者様の状況により、必要に応じて行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		情報収集を行うことから始めていきたい。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 26日

事業所名:あんじゅとよさと

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		利用開始前には行っている。	不十分なので、整理していく必要がある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		近日中に行う予定。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを作成し、ミーティングで話し合っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		回覧や、研修で法人としても取り組んでいる。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認している。	該当する児童が居ない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの報告書を上げ、回覧を行い全職員に周知している。	文書として残していない事例もあるが、再発しないように書面に残して振り返る機会を設ける。